

事業所名

鳥取県立鳥取療育園

支援プログラム (居宅訪問型児童発達支援)

作成日

令和8年

4月

1日

法人(事業所)理念		①子ども一人ひとりが、今のままで輝く存在であるように、その個性や可能性を大切にします。 ②子ども一人ひとりが、安心の中で喜びや楽しみをもち、たくましく生きていけるよう、支援します。 ③養育者一人ひとりが、子育てに安らぎと希望をもち、子どもと共に楽しく過ごせるよう、応援します。						
支援方針		・外出することが困難であるお子さんに対してご自宅を訪問し、関係機関と連携を図りながら地域での生活や将来についてご家族の方と一緒に考え、支援します。 ・「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域の視点を全て含めた、子ども一人ひとりにあった総合的な支援を提供します。						
営業時間		8時	30分	17時	15分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・子どもの心身の状況をきめ細やかに確認・観察し(最近の様子、活動前後、活動中など)保護者と共有することで、健康で安全な生活を送ることができるよう支援します。 ・子どもの障がい特性や身体状況、及び、訪問時の状況を考慮しながら、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につけられるように、支援を行います。 ・子ども一人ひとりが持つ機能の発達に働きかけ、身体的、精神的、社会的支援を行います。 ・日常生活の基本的な習慣やスキルを育み、生活が行いやすくなるための環境設定や支援の工夫を行います。						
	運動・感覚	・いろいろな姿勢や動きを経験し動きやすい体づくりに働きかけ、姿勢や動きのバリエーションを拡げます。 また、介助方法や働きかけるタイミングなどを保護者と確認しながら関わる大人で共有します。 ・子ども一人ひとりに応じた姿勢の取りやすさ・動作や移動のしやすさなどのために、姿勢保持装置など様々な補助用具・補助手段が活用できるように支援します。 ・視覚・聴覚・触覚・嗅覚・固有覚・前庭覚など五感に働きかけ、好きなあそびや感覚刺激を感じやすいあそびを見つけられるよう、活動をおして働きかけます。 ・子ども一人ひとりの障がい・様子、発達段階に応じて、他の感覚や機器による代行(スイッチ、ICTなど)の支援を行います。感覚の特性をふまえた支援(環境調整など)を行います。						
	認知・行動	・玩具や教材を使用したあそびを通して、見たり触れたりする経験をすることで、生活の中で「わかること」「できること」を増やしていきます。 子どもの姿や介助方法について保護者やかかわる大人で共有し包括的な成長につながるサポートを行います。 ・子ども一人ひとりに適した“わかる”“見とおし”などの手がかりを工夫し支援します(事前に伝える、繰り返し行う、手添えをする、実物、身振り、言葉かけの工夫など)。 ・子どもの好きなことや興味を活かした活動を提供することで、視線を向ける、聞く、指先を動かすなど身体動作を促し、理解や成功体験へ繋げていきます。						
	言語 コミュニケーション	・いろいろな感覚やあそびを経験したり繰り返したりしながら、快・不快の表現が増えるよう支援します。 ・子ども一人ひとりの興味関心をもとにしたあそびや活動をおして「伝えようとする側」と「受け取る側」との関係作りに取り組みます。 子どもに分かりやすい言葉を選び、ゆっくりとした口調で伝えることを心がけます。 ・ことばによるコミュニケーションだけでなく、表情や体の動き・変化や身振り、各種の機器や道具(スイッチ、ICT、カードなど)で伝えられるように支援します。また、子どもが表している変化について保護者やかかわる大人と共有し機会を逃さず伝えていくことで、子どもの“伝わった”“伝えたい”気持ちにつながる支援・意思決定支援を尊重した関わりを行います。						
	人間関係 社会性	・安心できる環境の中で、保護者を仲介としながら家族以外の人と関わる経験を重ね、愛着の形成や信頼関係の構築に繋げていきます。 ・子どもの興味や関心を拡げていき、あそびや活動の中で褒められたり、認められたりする経験を通して、社会性や人と関わることに関心(対人関係の芽生え)をもてるよう支援していきます。						
家族支援		・家族の思いや心配事に対して相談援助を行います。 ・家族が安心して子どもの成長を支えられる環境づくりを支援します。			移行支援		・通所型事業所の利用に向けた支援を関係機関と連携して進めます。 ・園や学校への情報提供、就園・就学先との移行支援会議	
地域支援・地域連携		・体調を考慮し、外出に向けた支援をご家族と相談しながら進めます。 ・医療機関、行政関係機関、相談機関との連携(情報交換や調整等)を行います。 ・医療的ケア児等支援センターとの情報共有・会議実施等			職員の質の向上		・事業所内研修、外部研修への派遣 ・関係機関(児童発達支援・学校)への見学	
主な行事等		自宅の中でも季節を感じられることができる活動の提供、誕生会						